



《教育目標》 人間性豊かで、創造力・実践力に富む生徒の育成

いろいろな勉強をしています！

2学期の期末テストが終わり、気が付けばもう12月。この間まで暑い日が続いたと思ったら、北風が身にしみる寒い日が急にやってきて、今年は秋があったのかなと思ってしまうほどの妙な気候の年になりました。

今回の塩中だよりは、子どもたちが日常の教科の授業以外にこんな勉強もしているということをご紹介します。



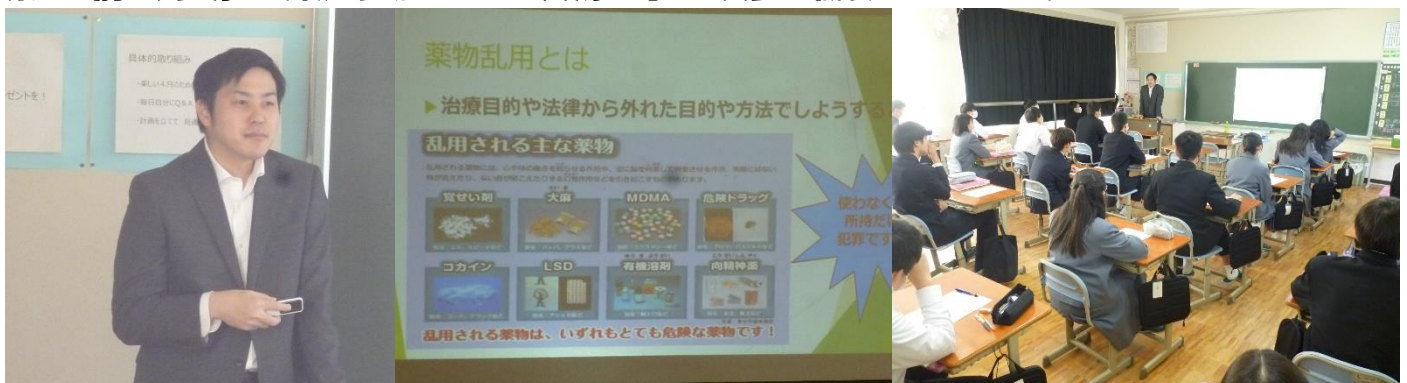
☆3年生：租税教室☆

11月27日(月)4限目、この日3年生では、税理士の大西さんと堀木さんから、「税」について現在の日本の税金の種類などいろいろと教わる機会を持ちました。みなさんも買い物をするとき商品の価格に消費税を加えた代金を支払っていますね。このようにみなさんにとって身近な納税は国民の義務であり、今後しっかり考えてほしいことのひとつです。昔は税の取り立てで一揆などの争いが起こったことは社会の授業で勉強したと思います。自分たちのこれからの生活に大きく関わる「税」について、主体的に考え行動できる人になってほしいと思います。



☆3年生：薬物乱用防止教室☆

11月30日(木)2限目、本校の学校薬剤師である西脇丞太郎さんによる薬物全般に関する授業をうけました。薬剤師の仕事のことや市販の薬から違法薬物についてまで、いろいろなお話が聞けました。現在、「大麻グミ」や「オーバードーズ」などが社会問題として大きく取り上げられています。義務教育を卒業する前に、自分の今後の生活について真剣に考える貴重な機会になりました。

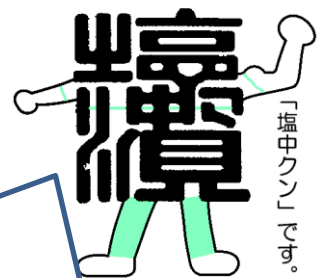


☆2、3年生：性に関する学習会☆

11月30日(木)6限目、医師の奥野利幸さんから「性」についての授業を受けました。二次性徴における身体的変化のこと、妊娠や避妊のこと、性病のことなど、医師の立場から分かりやすくお話していただきました。奥野さんが中学生のみなさんに一番言いたかったことは、「性」を考えることは「命」を考えることでした。これからの時代を背負っていく中学生には、是非とも命を大切にしてほしいというメッセージをいただきました。



～ 塩中クンのつぶやきコーナー ～



「聞く」と「聴く」

「聞く」と「聴く」、どちらも「きく」と読みます。しかし、意味は少し違いますね。普段何気なく使っている方が「聞く」ではないでしょうか。それに対して、「聴く」はただ単に聞こえるというような意味ではありません。「耳を傾けて注意深くきく」という意味です。英語でいう「hear (聞く)」と「listen (聴く)」の違いですね。また、文字を見ればその違いもなんとなく分かります。「聴く」には、「耳」という漢字のほかに「目」や「心」という字が入っています。つまり、耳だけでなく、目や心でしっかりと聴きなさいということなのですね。みなさんは、先生の話や家族の話、友達の話をよく「聴ける」人であってほしいと思います。

ちなみに、私が学生の頃、英語のリスニング (listening) は、ヒアリング (hearing) と言われていました。・・・だから英語が苦手になったのかなあ・・・(汗)